

公的施設等運営評価調書  
(令和 3 年度 総合評価)

様式1

運営評価対象年度	令和 3 年度
状況調査基準年月日	令和4年4月1日

施設名	県立淡路夢舞台国際会議場	施設所管部課室	企業庁			総務課	
		記入責任者職氏名 (担当者職氏名)	課長 (主任	葉山 琢 松下 潤	)	内線	5406 ( 5488 )

1 施設概要

設置目的	花と緑と海の景観が広がる美しい環境の下で、県民及び国内外の人々の多彩な交流を支援するとともに、勤労者をはじめ広く県民の文化活動及びレクリエーション活動を促進する。								
設置根拠	条例名称 (平成11年10月8日 条例第 41 号) 兵庫県立淡路夢舞台国際会議場及び淡路夢舞台公園の設置及び管理に関する条例								
所在地等	所在地	兵庫県淡路市夢舞台1番地		設置年月日	平成 12 年 3 月 9 日				
	電話番号	0799-74-1020		(R 4 .4現在経過年数	22 年)				
	HP・電子メール	http://www.yumebutai.org		直近の大規模改修年月	令和 2 年 12 月				
敷地面積	敷地面積	33544.75 m <sup>2</sup>	所有者別		m <sup>2</sup>	県	33,544.75 m <sup>2</sup>		
			内訳		m <sup>2</sup>	その他	m <sup>2</sup>		
施設内容	延床面積 13,990.00 m <sup>2</sup> 【各施設名とその概要】 メインホール、イベントホール、アンフィシアター、レセプションホール(2室)、中小会議室(6室)、討議室(8室)、特別会議室(2室)、控室(5室)、茶室(2室) 計28室								
利用時間	9時～21時								
休館日	12月29日～1月3日(6日間)								
利用料金	利用料金制度	導入済	料金体系	別紙記載のとおり					
	名称								
整備費	10,965,004 千円								
	(内訳)	当初整備	施設建築費	9,803,115 千円		財源内訳			
			用地費	587,208 千円					
			備品費等	574,681 千円					
			その他	千円					
	大規模改修	改修費	千円		財源内訳	国庫	千円	起債	6,541,000 千円
		備品費等	千円			特定	4,424,004 千円	一般	千円
		その他	千円			国庫	千円	起債	千円
	施設拡充	施設拡充等	千円		財源内訳	特定	千円	一般	千円
		備品費等	千円			国庫	千円	起債	千円
その他		千円		特定		千円	一般	千円	
業務内容	(1) 国際会議その他の会議、講演会、研修会等のために施設を県民の利用に供すること。 (2) 文化交流、経済交流等のための国際会議その他の会議、講演会、研修会等を開催すること。 (3) 文化活動及びレクリエーション活動のために施設を県民の利用に供すること。 (4) 演劇、音楽、舞踊等に関する鑑賞会を開催すること。 (5) 前各号に掲げるもののほか、国際会議場の目的を達成するために必要な業務								

2 運営体制

運営形態		指定管理者制度					
		指定管理者名	株式会社 夢舞台		指定の方法	特定の者を指定する施設	
指定管理者 指定内容	所在地	県内所在地	兵庫県淡路市夢舞台1番地		特定の者を指定する理由	隣接施設との一体的な管理運営や近傍市町立施設との密接な連携により効果的な管理運営が図られる施設	
	主たる事務所						
	指定管理期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日		履行保証保険の付保			
	導入(予定)時期	平成18年4月1日 ~					
	公募施設の場合⇒	直近の公募年度	年度	公募回数	回目		
職員数		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
		総数	9人	9人	10人	8人	8人
		うち県外向	0人	0人	0人	0人	0人
		正規	8人	8人	7人	7人	6人
		その他	1人	1人	3人	1人	2人
組織図							

3 運営費の状況

(1) 収支状況

(単位:千円)

区分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
支出	262,490	234,454	249,705	220,453	202,626	
人件費	67,378	68,336	61,266	57,600	54,252	
維持管理費	192,470	163,476	185,797	160,211	145,732	
事業運営費	2,642	2,642	2,642	2,642	2,642	
その他	0	0	0	0	0	
収入(財源内訳)	262,490	234,454	249,705	220,453	202,626	
県費	一般財源	175,903	146,430	208,998	148,721	118,473
	使用料収入	14	14	14	14	14
	他(国庫・CSR等)	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
	計	188,917	159,444	222,012	161,735	131,487
指定管理者等	利用料金	75,936	76,118	27,533	58,587	71,390
	自主事業	-2,363	-1,108	160	131	-251
	自主財源	0	0	0	0	0
	計	73,573	75,010	27,693	58,718	71,139

※ 令和4年度は当初予算、その他は決算。ただし県職員人件費については、一人あたり次の額で積算。

[30年度:8,223千円、R元年度:8,258千円、R2年度:8,461千円、3年度:8,408千円、4年度:8,331千円]

4 利用状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用者数	27,318人	25,025人	24,622人	7,278人	24,687人
対 29 年度比	100.0	91.6	90.1	26.6	90.4

【主な施設の利用状況】

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
メインホール					
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	21%	27%	24%	7%	13%
地元利用率	%	%	%	%	%
レセプションホールB					
利用者数	人	人	人	人	人
稼働率	25%	31%	27%	10%	19%
地元利用率	%	%	%	%	%

5 類似施設の状況

施設名称	所在地	設置者	設置年	施設概要
該当なし			年	
			年	
			年	
			年	

6 運営評価指標

	指標名	目標 [考え方]	令和元年度	令和2年度	令和3年度	達成度
設置目的に関する指標	総利用者数	25,000 目標利用者数	24,622人 (9.5千円)	7,278人 (34.3千円)	24,687 (8.9千円)	98.7%
サービス向上に関する指標	会議等開催件数	350 目標開催件数	404件	261件	263件	75.1%
効率的な運営に関する指標	メインホール稼働率	40 開業当初基準	24%	7%	13%	32.3%
その他	利用料金収入	90,000 目標収入	76,118千円	27,533千円	58,587千円	65.1%

※ ( )書きは、1単位当たりのコスト(算定式:1単位当たりコスト=事業費÷指標値)

※ 達成度は、令和3年度指標値÷目標値

7 運営評価

必要性	<p>淡路夢舞台は、関西国際空港整備に伴う広大な土砂採取跡地に豊かな自然を再生し、淡路地域の振興と大阪湾ベイエリアにおける交流拠点をめざす「淡路島国際公園都市構想」の中核施設として整備され、国内外の交流の舞台となる国際会議場などの公の施設と、その迎賓機能として収益事業のホテルで構成された複合施設群である。</p> <p>同会議場は、都市型の大規模施設とは一線を画した、豊かな自然と調和した静かな会議環境を提供するリゾート&amp;コンファレンスセンターであり、県民及び国内外の人々の多彩な交流を促進するとともに、県民の文化活動及びレクリエーション活動を推進することを目的としている。</p> <p>令和3年度はコロナの影響により、海外の渡航制限から国際会議の開催は事実上困難な状況に陥ったが、近隣企業の研修や医科系学会、ワクチン職域接種会場の誘致のほか、コロナ禍での新たな会議需要となるハイブリッド会議プラン(オンライン+リアル)造成等の取組みにより、国内会議の利用者数はコロナ前と同程度を確保した。</p> <p>令和4年度に入り、人流抑制が解除され、海外からの渡航制限が緩和されつつあること、さらには大阪・関西万博を踏まえ、隣接するホテルとの連携や島内エクスカッションなど、リゾート立地の特性を活かしたMICE案件、国際会議の誘致を図り、国内外の交流をより一層促進していく必要がある。</p>
有効性	<p>JNTO(国際観光振興機構)の統計によると、本会議場の国際会議開催件数は、全国の貸館施設ランキングで上位に入っており、十分な有効性がある。</p> <p>【H16年:5位、H17年:7位、H18年:7位、H19年:4位、H20年:9位、H21年:8位、H22年:7位、H23年:10位、H24年:17位、H25:21位、H26年:24位、H27年:21位、H28年:26位、H29年:55位、H30年:35位、R元年:33位、※R2年はコロナの影響により全国的に開催件数が激減】</p>
効率性	<p>令和3年度は、前年に続き年間を通してコロナの影響を受け利用予約の天平が中止・延期、会議件数はコロナ前(平成30年度)の7割程度となった。厳しい状況下であったが、コロナ禍での新たな会議需要の獲得に向け、高性能空調システム(HEPAフィルター)導入(R2年度)などの安全・安心対策に加え、ハイブリッド会議プランの造成(R2~R3年度)、高速インターネット環境の確保(R3年度)などに取り組んだことにより、多種多様なニーズに応えられる体制となり、今後の稼働率改善に期待ができる。</p>
民間・市町との役割分担	<p>公の施設として国際会議場を設置することは、民間の営利施設よりも安価で質の良い会議空間を提供することによって、地域の活性化を図ることであり、民間との棲み分けは出来ている。また、観光需要など施設利用者の付加的な需要を満たすことは、施設利用者のリピーター化を促すと同時に地域経済にも好影響を与えるため、一層の連携が必要である。</p>
受益と負担の適正化	<p>利用料金の設定にあたっては、先行して稼働している神戸・大阪・京都の近隣国際会議施設との競争に伍するため、同等レベルに設定する必要がある。</p> <p>そのため、管理運営費のスリム化を図ることによって、受益と負担の適正化に努めていく。</p>

8 指定管理者制度導入の効果 (※ 直営施設については、導入しない理由)

導入効果等	<p>多種多様なニーズに応えられる環境を整備していることや、滞在型の国際会議に適した会議場として活用できることから、利用者のサービス向上が図られている。</p>
-------	--

9 施設の見直し方針

見直し方針	<p>引き続き(株)夢舞台を指定管理者とし、サービスの向上と運営の効率化を図る。</p>
見直しの理由・考え方	<p>国際会議場などの公の施設と、ホテルなどの収益事業とが一体となった夢舞台施設群を、一体的に管理運営していくことで、リゾート立地の特性を活かした滞在型会議場として、国際会議やMICE誘致などによる活性化を図る必要があるため、運営ノウハウを有する上記法人を引き続き指定管理者とすることが合理的である。引き続き、同社の運営のもと利用率の向上、利用料金収入の確保、サービスの向上等経営努力を図りながら、当該施設の効果的・効率的な運営に努めていく。</p>